写真：竹之下の棚田（小山町竹之下）　撮影者：赤木和敏/2019年町公認インスタグラマー

1. 小山町の紹介

- 小山町の紹介 …… 2
- 新東名の開通～交通ネットワークの充実～ …… 4
- 第5次小山町総合計画・小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略 …… 5
- 静岡県“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組『フロンティア推進区域』 …… 6
- 小山町国土強靭化への取組 …… 7

2. 小山町将来土地利用構想

- 湯船原地区【再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業】 …… 11
- 小山PA周辺地区【小山パーキングエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業】 … 20
- 足柄SA周辺地区【足柄サービスエリア周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業】 …… 23
- 南藤曲地区【家・庭一体の住まいづくり事業】 …… 29
- 富士小山わさび平地区【優良田園住宅事業】 …… 30
- 駿河小山駅周辺地区【富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業】 …… 32
- 須走周辺地区【富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業】 …… 35
- リバーガーデンタウンおやま宅地造成事業推進区域【優良田園住宅事業】 …… 37

3. 小山町のまちづくり推進体制

- 庁内推進プロジェクトチーム『チームフロンティアおやま』 …… 38
- 小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会 …… 38

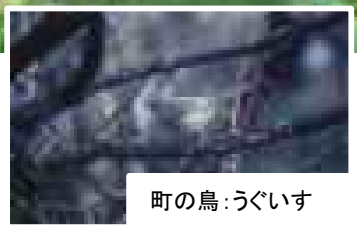
小山町の紹介

小山町は、静岡県の北東端に位置して、北西端は富士山頂に達する。富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と北東方は丹沢山地(不老山930m)東南方は箱根外輪山(金時山1,212m・足柄峠759m)に囲まれ東西に伸びている。

面積は135.74k㎡　集落、農耕地は海抜300～800m緩傾斜地帯にある。

河川は源を富士、箱根山麓に発する鮎沢川が、馬伏川、須川、野沢川を合して東流し、酒匂川となっている。

町は小山、足柄、北郷、須走の4地域からなっている。


町の鳥：うぐいす

町の木：ふじざくら

町の花：菜の花

小山町の紹介

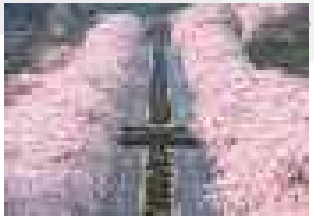
a. 金時公園

b. 豊門公園

c. 森村橋

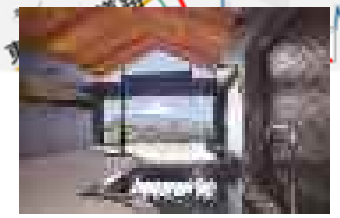
d. FUJI CYCLE GATE

e. 富士スピードウェイ



f. 冨士霊園

g. 道の駅ふじおやま

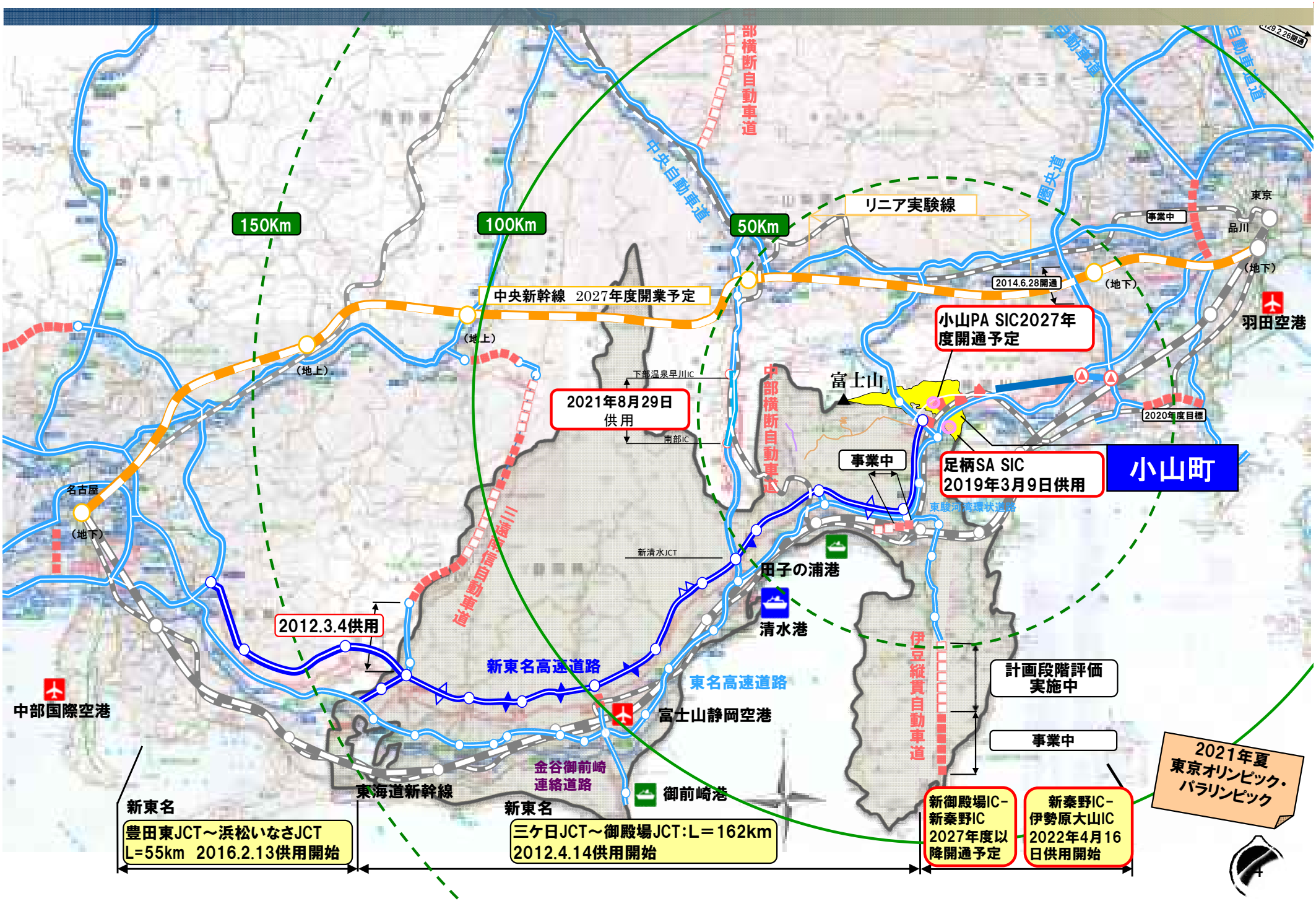


h. あしがら温泉

i. 道の駅すばしり

2021年度、小山町の観光交流目的で訪れた旅行者数はおよそ259万人。内訳は概ね、宿泊27万人、観光等256万人。
人口に対する観光交流客数が多く、例年変動なく安定して観光客が来訪しており、観光に対するポテンシャルは高い。

新東名の開通　交通ネットワークの充実



第５次小山町総合計画・小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

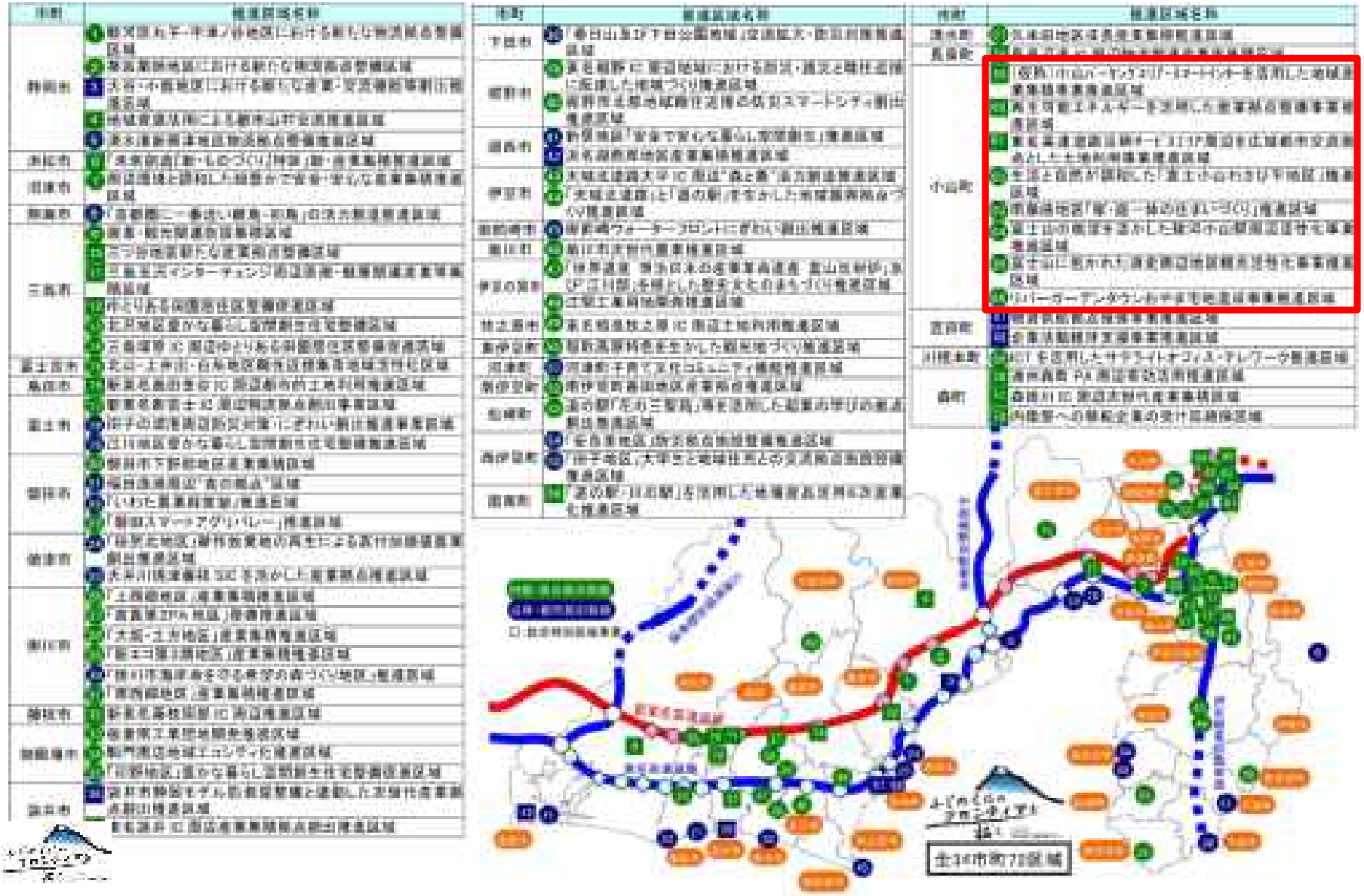
第5次小山町総合計画（前期基本計画）に『小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略』の内容を含めた「一体的な策定」をした。

■施策体系図

静岡県ふじのくにフロンティア推進区域（静岡県）

目標　**安全・安心で魅力ある“ふじのくに”の実現**

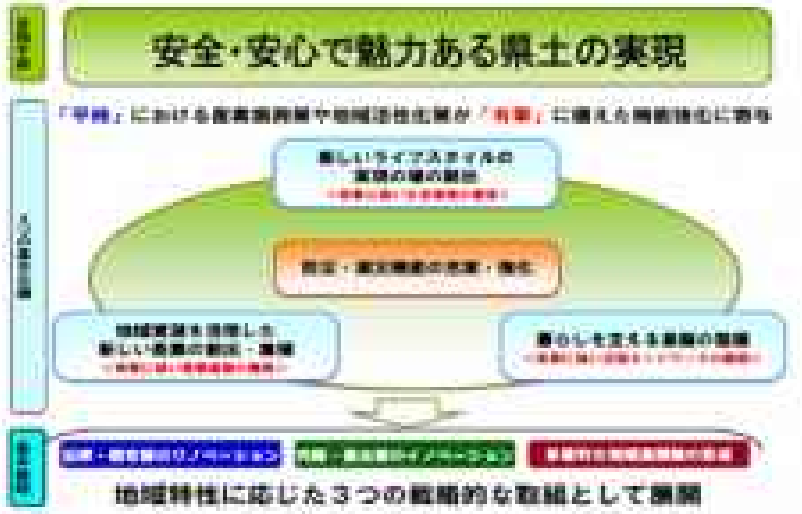
防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりを実現するふじのくにのフロンティアを拓く取組の静岡県全域への拡大に向け市町の取組や事業の具体化を強化します。「フロンティア推進区域」に指定された区域には、通常の企業立地に関する助成制度に加え、補助率及び限度額の引上げや設備投資等を行う中小企業への貸付に対する利子補給など、県の重点的な支援を行います。（静岡県フロンティアホームページ）

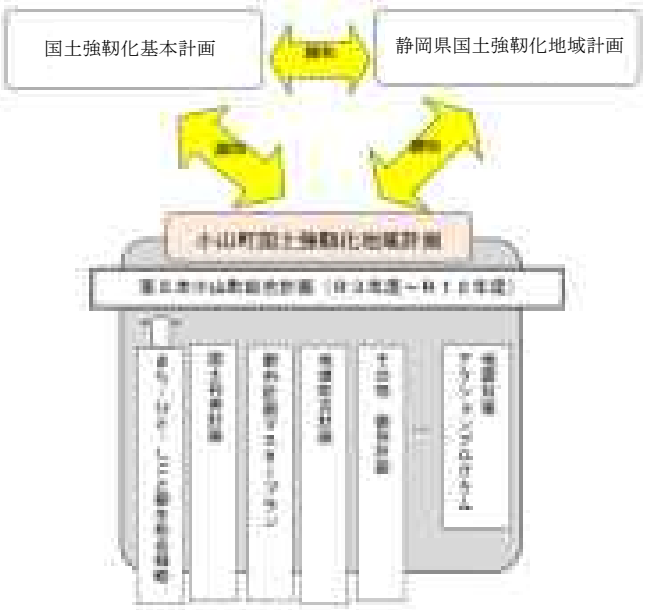


小山町国土強靭化への取組

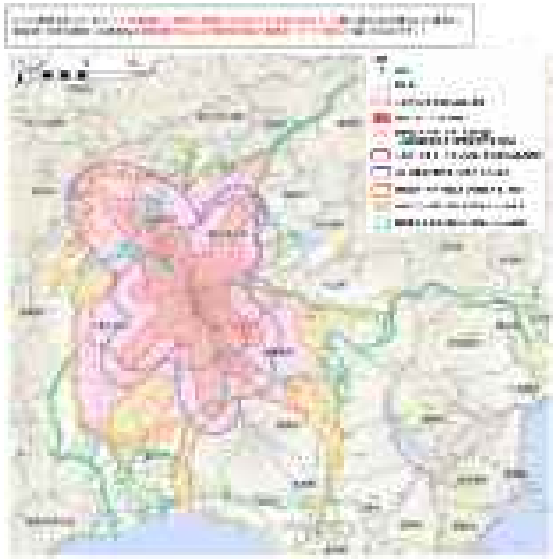
３年連続強靭化大賞受賞

『ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）2017』 地方自治体部門で**金賞**受賞！
『ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）2018』 国土強靭化地域計画賞で**金賞**受賞！
『ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）2019』 最優秀レジリエンス賞受賞！





富士山ハザード統合マップ



小山町国土強靭化地域計画 （2016年5月策定）

1 基本理念

小山町では、防災・減災と地域活性化を両立させる国土強靭化の理念を踏まえた地域づくりを進める際に、町民・行政・民間事業者の「連携と協働」によるまちづくりの推進を図り、町民の「安全・安心」を最優先とする必要があります。このため、「富士山麓のあるまち」「金太郎生誕の地」にふさわしい元気で、強く、安全な地域社会の実現を基本理念としました。

2 基本目標

いかなる災害が発生しようとも、

（1）人命の保護を最大限図る
（2）地域社会の重要な機能の致命的な障害の回避及び維持を図る
（3）町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化を図る
（4）迅速な復旧復興を図る

災害対策に数値目標を設定

＜小山町山地強靭化総合対策協議会＞

平成２２年の台風９号による災害発生以降、脆弱となった町内森林では山腹崩壊や流木（スコリア）土砂の流出など、山地に起因する災害が頻繁に発生する状況となっており、山地災害の復旧、予防対策工事の実施及び森林整備の推進が急務となった。

このため、本町では、平成２５年８月に、「小山町山地強靭化総合対策協議会」を発足した。当該協会は、不老山地区、下谷・大沢地区、足柄地区、北部地区、須走地区の５つのそれぞれの地域活動の活動を支援し、関係行政機関との連携を一層強化することにより、災害に強い強靭な森林づくりを目指している。

事業内容は下記のとおりである。

（1） 継続的に活動できる組織づくりに向けた森林整備の推進
（2） 森林整備に関する情報共有と施業集約化の推進
（3） 林野庁による民有林直轄治山事業の推進（荒廃森林の復旧加速化）
（4） 持続可能な地域循環型林業整備（「内陸のフロンティア」を拓く取組との連携）

将来土地利用構想図

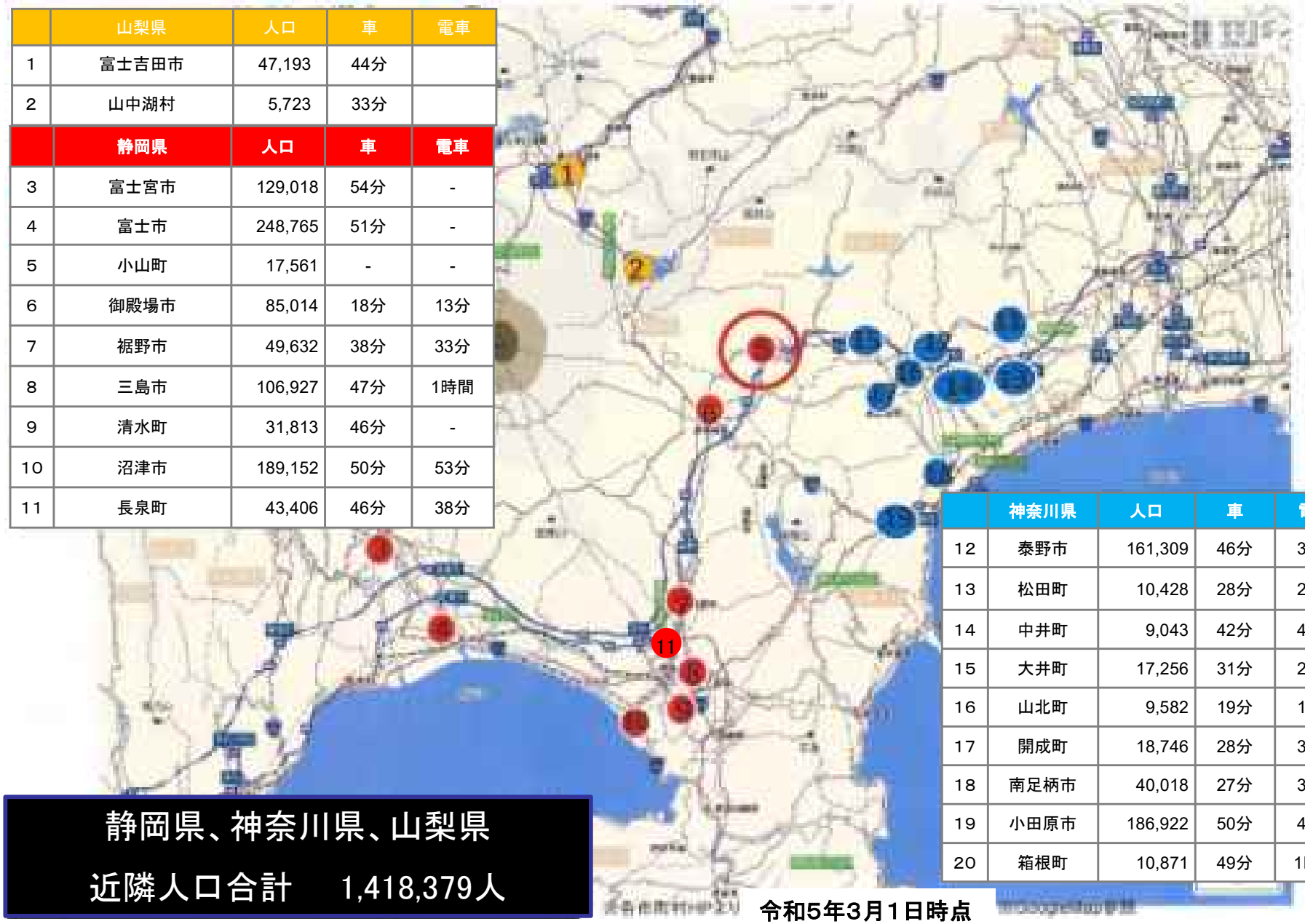
富士のふもとに「三来拠点」
3つの未来がはじまるまち-おやま-

小山町ﾌﾛﾝﾃｨｱ推進区域： 8地区

- ・湯船原地区
  再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業
- ・小山PA周辺地区
  小山PA スマートICを活用した地域産業集積事業
- ・足柄SA周辺地区
  足柄SA周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業
- ・南藤曲地区：O
  家・庭一体の住まいづくり事業
- ・富士小山わさび平地区
  優良田園住宅事業
- ・駿河小山駅周辺地区
  富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業
- ・須走周辺地区
  富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業
- ・ﾘﾊﾞｰｶﾞｰﾃﾞﾝﾀｳﾝおやま宅地造成地区：
  優良田園住宅事業

小山町近隣の人口

	山梨県	人口	車	電車
1	富士吉田市	47,193	44分	
2	山中湖村	5,723	33分	
	静岡県	**人口**	**車**	**電車**
3	富士宮市	129,018	54分	-
4	富士市	248,765	51分	-
5	小山町	17,561	-	-
6	御殿場市	85,014	18分	13分
7	裾野市	49,632	38分	33分
8	三島市	106,927	47分	1時間
9	清水町	31,813	46分	-
10	沼津市	189,152	50分	53分
11	長泉町	43,406	46分	38分



	神奈川県	人口	車	電車
12	泰野市	161,309	46分	35分
13	松田町	10,428	28分	23分
14	中井町	9,043	42分	41分
15	大井町	17,256	31分	29分
16	山北町	9,582	19分	12分
17	開成町	18,746	28分	32分
18	南足柄市	40,018	27分	31分
19	小田原市	186,922	50分	48分
20	箱根町	10,871	49分	1時間

静岡県、神奈川県、山梨県

近隣人口合計　1,418,379人

令和5年3月1日時点

小山町近隣の工業系高校・大学・大学院

	県	市町村	学校種別	公私	学校名	学科名等	生徒数	データ
12	山梨県	都留市	高校	県立	都留興譲館高等学校	工業科	213	令和3年度

	県	市町村	学校種別	公私	学校名	学科名等	生徒数	データ
10	神奈川県	平塚市	大学	私立	東海大学	工学部(13学科)	5,540	令和3年度
11		小田原市	高校	県立	小田原城北工業高等学校	機会(他5学科)	511	令和3年度

	県	市町村	学校種別	公私	学校名	学科名等	生徒数	データ
1	静岡県	浜松市	大学院	国立	静岡大学	工学専攻	701	令和3年度
			大学			工学部(7学科)	2,399	令和3年度
2		袋井市	大学院	私立	静岡理工科大学	理工学研究科	28	令和2年度
			大学			理工学部(4学科)	1,101	令和2年度
3		小山町	専門学校	私立	富士メカニック専門学校	自動車	94	令和3年度

湯船原地区

	県	市町村	学校種別	公私	学校名	学科名等	生徒数	データ
4	静岡県	沼津市	高等専門学校	国立	沼津工業高等専門学校	機械工(他4学科)	1,013	令和4年度
5		沼津市	高校	県立	沼津工業高等学校	機械(他5学科)	491	令和4年度
6		伊豆市	高校	県立	伊豆総合高等学校	工業	131	令和4年度
7		御殿場市	高校	県立	御殿場高等学校	創造工学科	196	令和4年度
8		富士市	高校	県立	吉原工業高等学校	機械(他4学科)	412	令和4年度
9		沼津市	高校	私立	飛龍高等学校	自動車	77	令和4年度

静岡県、神奈川県、山梨県
生徒数合計　12,907人

湯船原地区：再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域

フロンティア推進区域
（第１次指定 2014.5.27）

政策課題	●脆弱となっている町内山林に起因する災害が頻発しているため、持続可能な資源循環型林業の構築による災害に強い強靭な森林づくりが急務となっている。 ●森林資源を中心に多様なエネルギー有効利用が求められている
解決策	●資源循環型林業構築のため、木質バイオマス発電所を建設するとともに、木質バイオマスを活用した次世代施設園芸を誘致する。 ●木質バイオマスと太陽光のハイブリッド発電によるエネルギーの地産地消を実現する。 ●有事の際には、隣接する工業団地等へ電力供給する仕組みを構築し、災害に強く持続可能な分散自立型の地域づくりを実現する。

【事業内容】
・災害に強く持続可能な再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ（木質ﾊﾞｲｵﾏｽ発電、太陽光発電）、工業団地、次世代施設園芸団地の整備

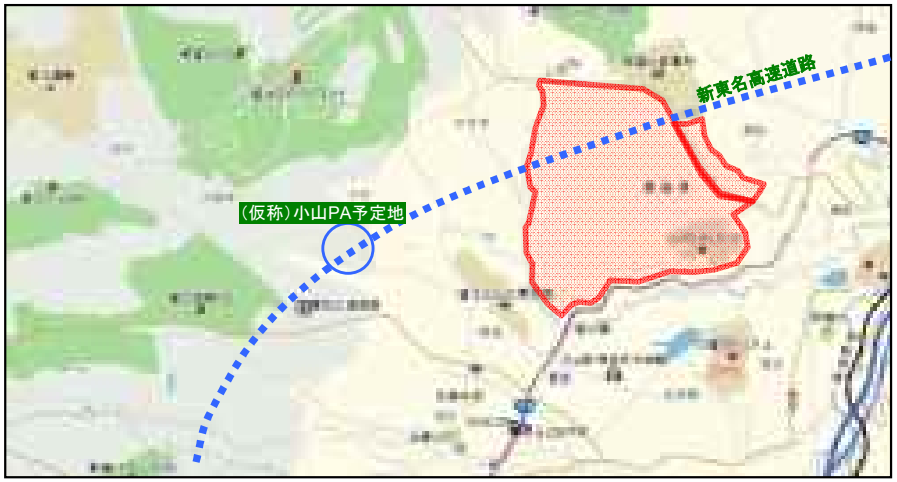
【想定している事業実施主体】
・県企業局（小山湯船原工業団地）、富士小山次世代施設園芸推進ｺﾝｿｰｼｱﾑ
小山町、発電事業者等

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
○	○	○	○

【区域の範囲】（対象面積：約300ha）

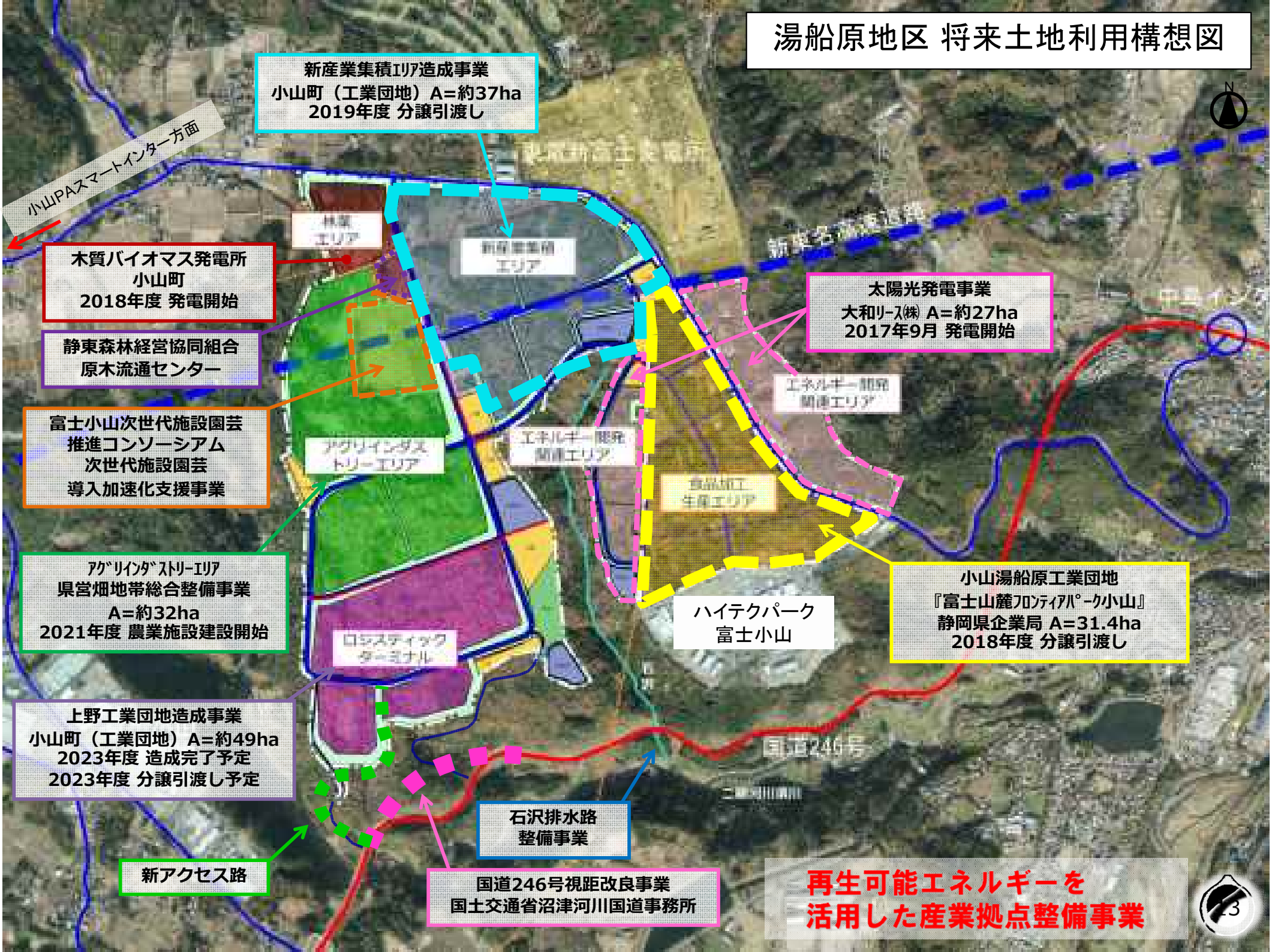


【スケジュール】

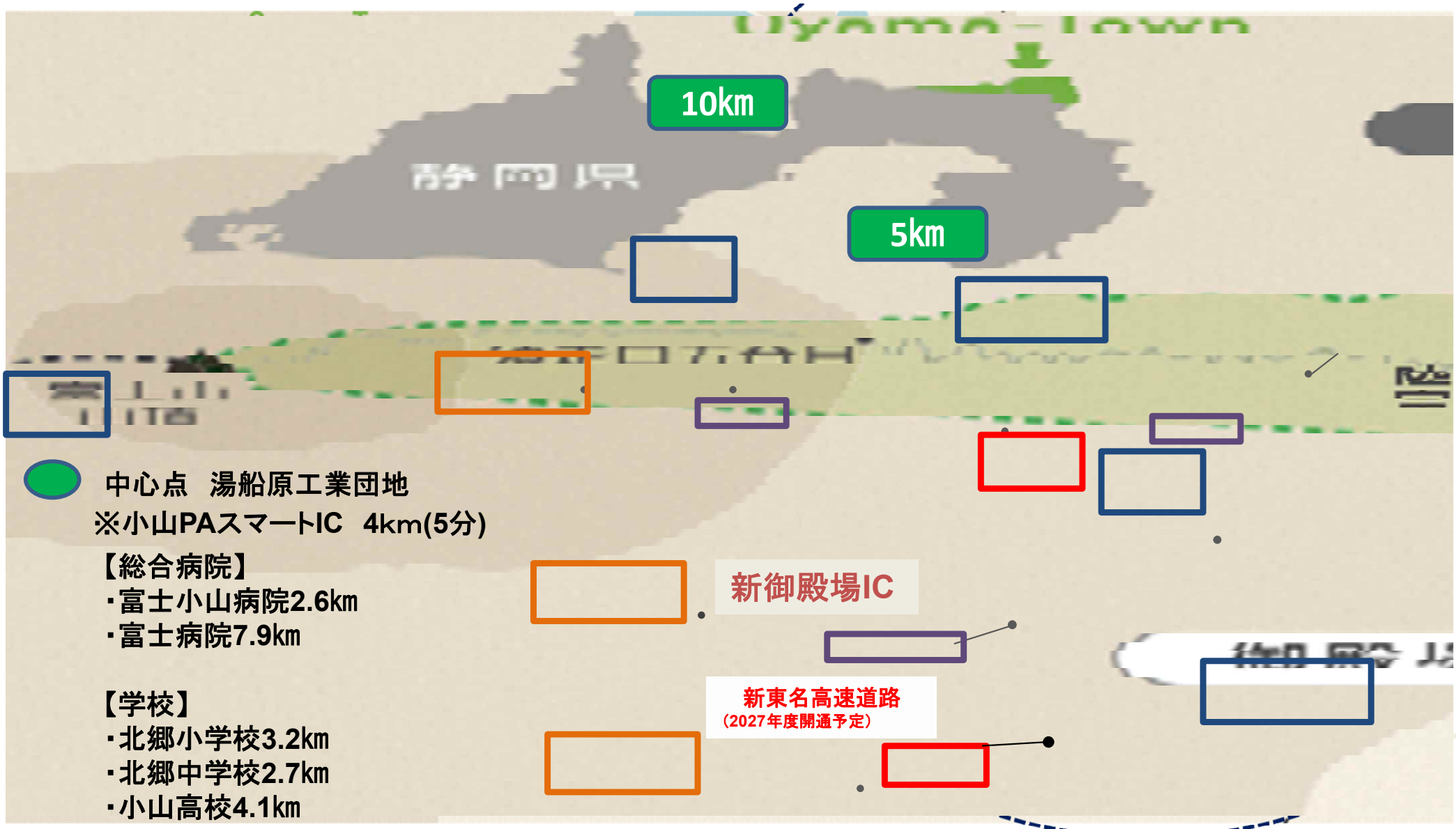
2014年度	小山湯船原工業団地造成詳細調査・地元調整 次世代施設園芸地元調整・造成着手
2015年度	小山湯船原工業団地造成着手準備 新産業集積ｴﾘｱ造成事業詳細調査・地元調整 次世代施設園芸施設整備完了、太陽光発電事業着手、再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ活用基本方針作成
2016年度	小山湯船原工業団地造成着手、新産業集積ｴﾘｱ造成工事着手、ｱｸﾞﾘｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰｴﾘｱ基本調査・地元調整、ﾛｼﾞｽﾃｨｯｸﾀｰﾐﾅﾙｴﾘｱ詳細調査・地元調整、国道246号視距改良新規事業化・地元調整 次世代施設園芸農作物栽培開始 木質バイオマス発電事業実施設計 太陽光発電事業完了
2017年度	小山湯船原工業団地造成工事、新産業集積ｴﾘｱ造成工事、ｱｸﾞﾘｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰｴﾘｱ農用地整備新規事業化、ﾛｼﾞｽﾃｨｯｸﾀｰﾐﾅﾙｴﾘｱ造成着手準備 国道246号視距改良工事着手 木質バイオマス発電事業着手

湯船原地区現況写真

新東名高速道路
小山PA（仮称）
スマートIC
富士スピードウェイ
富士小山工業団地
東京電力
新富士変電所
ハイテクパーク
国道246号


湯船原地区 将来土地利用構想図
新産業集積ｴﾘｱ造成事業
小山町（工業団地）A=約37ha
2019年度 分譲引渡し
小山PAスマートインター方面
木質バイオマス発電所
小山町
2018年度 発電開始
静東森林経営協同組合
原木流通センター
富士小山次世代施設園芸
推進コンソーシアム
次世代施設園芸
導入加速化支援事業
ｱｸﾞﾘｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰｴﾘｱ
県営畑地帯総合整備事業
A=約32ha
2021年度 農業施設建設開始
上野工業団地造成事業
小山町（工業団地）A=約49ha
2023年度 造成完了予定
2023年度 分譲引渡し予定
新アクセス路
石沢排水路
整備事業
国道246号視距改良事業
国土交通省沼津河川国道事務所
太陽光発電事業
大和ﾘｰｽ㈱ A=約27ha
2017年9月 発電開始
ハイテクパーク
富士小山
小山湯船原工業団地
『富士山麓ﾌﾛﾝﾃｨｱﾊﾟｰｸ小山』
静岡県企業局 A=31.4ha
2018年度 分譲引渡し
林業
エリア
新産業集積
エリア
ｱｸﾞﾘｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰ
エリア
ロジスティック
ターミナル
エネルギー開発
関連エリア
エネルギー開発
関連エリア
食品加工
生産エリア
新東名高速道路
国道246号
再生可能エネルギーを
活用した産業拠点整備事業

湯船原地区から主要施設までの距離



静岡県企業局『小山湯船原工業団地』造成事業（食品加工生産エリア）

『富士山麓フロンティアパーク小山』

富士山を借景にした森に佇む工業団地

2018年10月
造成工事完成

区画	社名	業種	本社
1	㈱アクシージア	化粧品	東京都
2－1	ウチヤマホールディングス㈱	金属製品製造業	岡山県
2－2	クレフォート東日本㈱（旧社名：㈱東海ホールディングス）	食料品製造業	愛知県
2－3	㈱手原産業倉庫	倉庫業	滋賀県
3	シンコー技研㈱	化学薬品の製造販売	東京都
4	ジャパンロジスティックス㈱	倉庫業	静岡県
5	㈱クリエイティブ	食料品製造業	静岡県
6	㈱やまみ	食料品製造	広島県
7－1	㈱ハナミスイ	管理医療機器製造業	東京都
7－2	㈱アドベル	その他事業サービス業	神奈川県

○分譲面積	
区画	分譲面積（㎡）
区画1	11,388.43
区画2-1	19,791.33
区画2-2	19,279.23
区画2-3	25,022.13
区画3	20,177.92
区画4	39,407.49
区画5	25,936.07
区画6	50,481.34
区画7-1	10,000.09
区画7-2	17,352.06

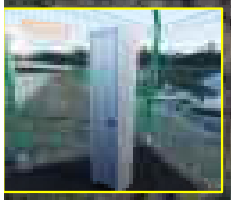
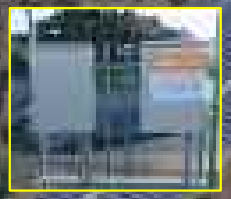
小山町湯船原地区太陽光発電事業 （エネルギー開発関連エリア）

発電所名『DREAM Solar ふじおやま』

- 事業区域　A=約27ha
  （東京ドーム6個分）
- 発電規模　16.4MW
- 一般家庭4,100世帯分の発電量
- 2017年9月　発電開始

小山湯船原工業団地
富士山麓フロンティアパーク小山
A=31.4ha

災害時の実力

停電時に充電可能

＜発電実績＞

2017年度（9月～3月）	**10,431** MWh
2018年度（4月～3月）	**19,767** MWh
2019年度（4月～3月）	**18,831** MWh
2020年度（4月～3月）	**18,263** MWh
2021年度（4月～3月）	**18,007** MWh

直近の発電状況

（MWh）

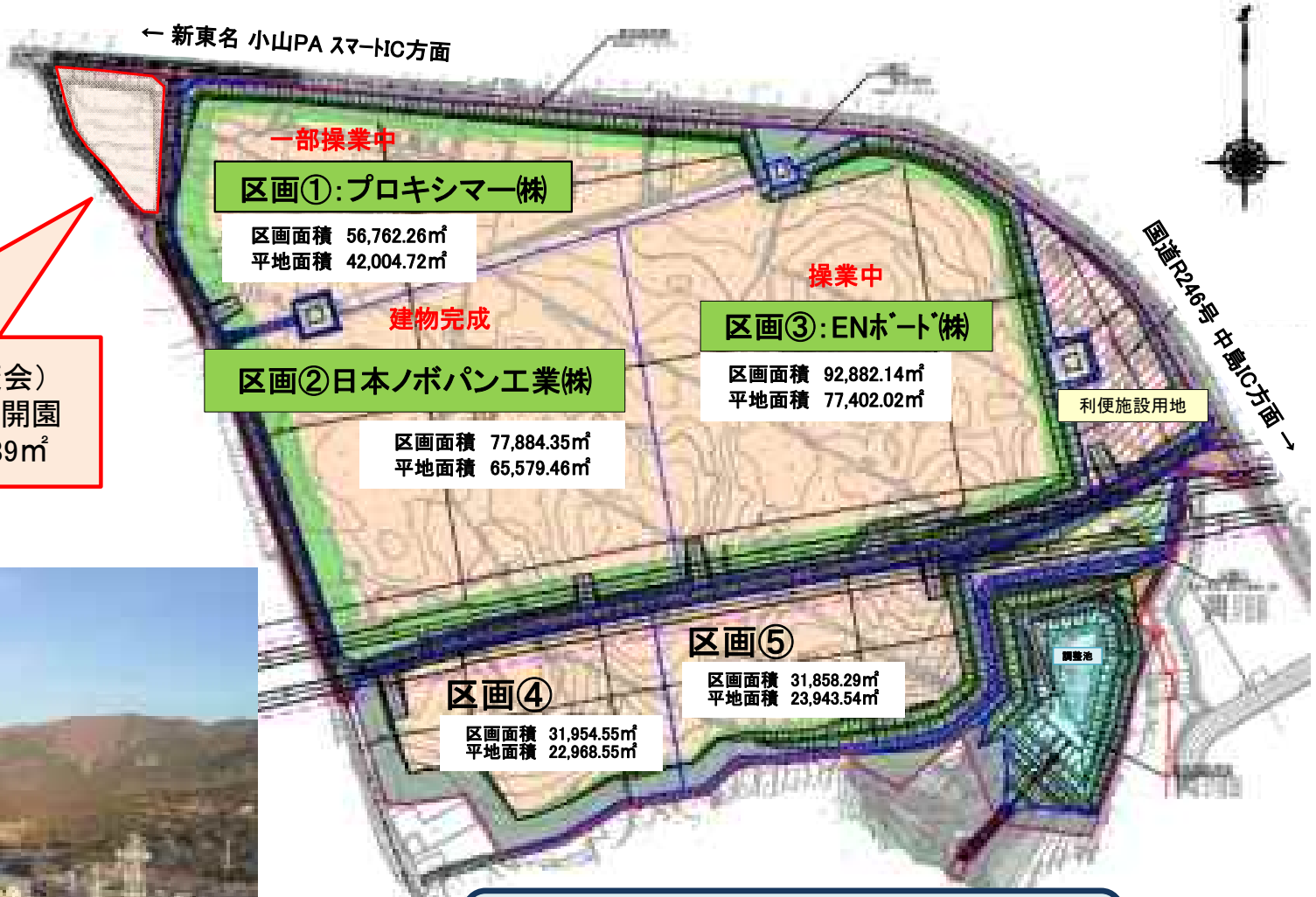
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	2,012	2,113	1,829	2,200	2,066	1,213	1,528	1,274	1,017	1,486	1,223	1,806	19,767
2019年度	1,985	2,233	1,700	1,419	1,751	1,602	1,126	1,331	1,107	1,105	1,638	1,834	18,831
2020年度	1,975	2,017	1,613	989	2,121	1,291	1,028	1,130	1,185	1,354	1,778	1,782	18,263
2021年度	1,995	1,760	1,749	1,675	1,552	1,161	1,121	1,190	1,194	1,304	1,560	1,746	18,007
2022年度	1,590	1,871	1,546	1,616	1,382	1,185	849	740	844	981	1,281		13,885

新産業集積エリア工業団地造成事業 （新産業集積エリア）

新東名高速道路（仮称）小山PA　スマートIC（2027年度供用開始目標）まで 3km（4分）
沿岸部からの工場移転の受け皿としながら、雇用の創出をはじめとする町の活性化に寄与する工業団地を造成
※2017年4月造成着手、2019年9月造成完了

事業主体：小山町
事業協力者：大和ハウス工業㈱
事業区域　A=約37ha

みらいこども園（社会福祉法人寿康会）
認定こども園 定員：90名 2020年4月開園
敷地面積：6,153㎡　建築面積：941.89㎡



北側販売面積（区画①～③）約22.7ha
南側販売面積（区画④～⑤）約6.3ha

上野工業団地造成事業・国道246号視距改良事業 （ﾛｼﾞｽﾃｨｯｸﾀｰﾐﾅﾙｴﾘｱ）

10万坪を一体利用できる広大な工業団地を造成　※2023年度分譲目標
国道246号から直接アクセスが可能となる物流にも有利な立地条件

事業主体：小山町
事業協力者：大和ハウス工業㈱
事業区域　A= 約49 ha

2020年4月　造成工事着手
2023年7月　造成完了予定
2023年度　　分譲引渡し予定

小山PA周辺地区現況写真

小山PA周辺地区 :（仮称）小山ﾊﾟｰｷﾝｸﾞｴﾘｱ・ｽﾏｰﾄｲﾝﾀｰを活用した地域産業集積事業推進区域

フロンティア推進区域
（第１次指定 2014.5.27）

政策課題	●新東名高速道路（仮称）小山ＰＡにスマートＩＣが設置されることから、豊富な地域資源を活用した観光サービス産業への参入などの企業ニーズに的確に対応する必要がある。 ●小山ＰＡ周辺の観光施設や立地企業と連携した防災拠点の創出が求められている。
解決策	●（仮称）小山スマートＩＣ周辺に、地場産品販売所等の設置や自動車関連産業の集積を行い、地域の観光資源を活かしたビジネス観光拠点を創出する。 ●有事においては、立地企業等との協定等を締結し、（仮称）小山ＰＡ、富士スピードウェイと連携した防災拠点を創出する。

【事業内容】
・地域防災力を高める観光関連施設及びモータースポーツ関連産業の集積

【想定している事業実施主体】
・小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
○	○	○	○

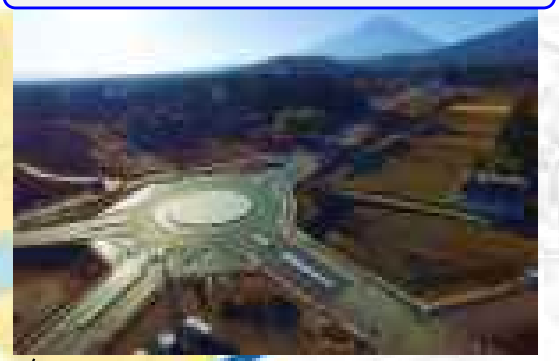
【区域の範囲】（対象面積：約190ha）

【スケジュール】

2017年度	地権者等協議会設立
2018年度	基本設計・測量
2019年度	実施設計・用地買収
2020年度	造成工事

小山PA周辺地区　将来土地利用構想

小山パーキングエリア・
スマートインターを活用した
地域産業集積事業



富士霊園

富士スピードウェイ

至小山市街地

東京方面

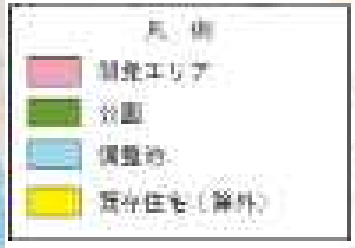
至山梨県

町道上野大御神線

新東名高速道路
※2027年度供用開始予定

調整池

町道3975号線



名古屋方面

至国道246号

モータースポーツ施設の
整備イメージ

至国道246号

事業協力者：代表事業者・トヨタ不動産㈱
共同提案事業者・坪井工業㈱　2018年8月基本協定締結

2020年5月伐採工事着手

小山PA周辺地区　土地利用計画図

今後実施する基本計画・実施設計により内容に変更が生じる場合があります。

足柄SA周辺地区：東名高速道路足柄サービスエリア周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業推進区域

フロンティア推進区域
（第１次指定 2014.5.27）

政策課題	●東名足柄ＳＡ周辺は、豊かな自然環境や優れた交通利便性を活かした交流の場の創出と企業の集積が必要となっている。 ●富士山火山防災も視野に入れた防災拠点の創出が求められている。
解決策	●東名高速道路足柄ＳＡにスマートインターチェンジを整備するとともに、観光拠点施設の整備及び工業用地を創出する。 ●有事においては、立地企業等と防災協定を締結することで、広域防災拠点として活用する。また、新東名（仮称）小山ＰＡと連携し、防災機能の強化を図る。

【事業内容】
・広域防災拠点となり得る観光関連施設及び工業用地の整備、スマートインターチェンジの整備

【想定している事業実施主体】
・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
○	○	○	○	―	―

【区域の範囲】　（対象面積：約64ha）

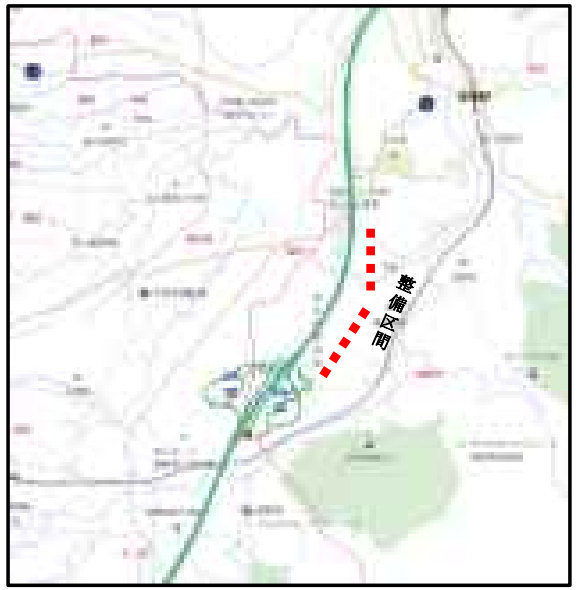
【スケジュール】

2015年度	スマートIC連結許可申請 開発事業地権者協議会設立
2016年度	スマートIC連結許可、整備事業着手 開発許可、事業着手、防災協定締結
2017年度	スマートIC整備工事 開発事業工事
2018年度	スマートIC整備完了 開発事業完了

東名高速道路足柄SA周辺を
広域都市交流拠点とした土地利用事業

RDFセンター：　御殿場市・小山町広域ごみ処理施設
（2014年度末で廃止⇒跡地利用）
※2018年解体工事完了

足柄SA周辺地区（桑木地区）町道整備事業



【事業概要】
事業延長：1.1㎞
幅　　員：12.0m
規　　格：３種３級（40㎞/h）
事業期間：平成29年度～令和6年度
現況交通量：140台/日
（H27ｾﾝｻｽ・現道1車線）
計画交通量：6,600台/日
（R12計画・2車線）
供用開始見込時期：令和9年度

東名高速道路足柄SA下り線側の足柄スマートICから、主要幹線道路である県道御殿場大井線に接続する全長約1.1㎞の町道整備事業。

足柄スマートIC近接で予定されている、民間開発事業の複合観光施設等へのアクセス強化により、地域活性化が期待される。

※写真は、令和5年3月時点の現場状況

足柄SA周辺地区（桑木地区）複合観光施設開発事業

ふじのくに AQUAxIGNIS小山　事業計画

☆県内の海の幸・山の幸を集め販売する**産直市場**
☆国内外で活躍する**有名シェフのレストラン**
☆本物の素晴らしい**富士山を眺める温泉**
☆上質な滞在を約束する**ハイエンドブランドのホテル**

「森をできる限り残して 豊かな自然のもつ魅力を活かす」

（株）ふじのくにアクアイグニス小山

計画概要

事業区域面積：254,896㎡

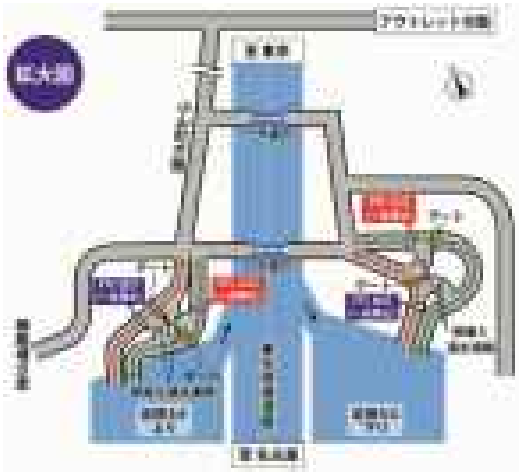
開発許可：2019年6月　　開業：2027年（予定）

※事業計画の再構築中のため、本内容は変更する場合があります。

東名高速道路足柄SA 足柄スマートインターチェンジ整備事業

2016年6月6日　東名高速道路足柄サービスエリアと小山町道との連結許可を取得
2019年3月9日　東名高速道路足柄スマートインターチェンジ開通

利用時間　24時間利用可能
出入方向　全方向に利用可能
（東京・名古屋方面）
対象車両　ETC車載器を
搭載した全車種



E1東名高速道路足柄スマートインターチェンジ
～開通1年後の交通状況及び整備効果～

■足柄スマートICと隣接IC全体の
1日平均利用台数が800台増加

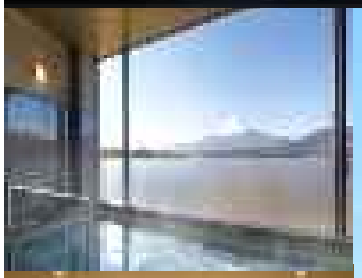
■利用ICの分散が図られ、御殿場ICの
渋滞発生回数が5割以上減少

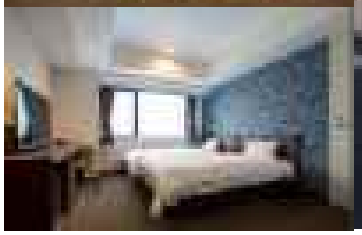
■FUJI　SPEEDWAYから大井松田ICまでの
休日ピーク所要時間が、最大約16分短縮

■第三次医療施設までの救急搬送時間が
5分短縮し、12回の搬送を実施

（令和2年9月25日プレスリリース）

足柄SA周辺地区（竹之下地区）宿泊施設整備事業





ビジネスホテルとシティホテルのセンターラインに位置する新感覚ホテル

- 交流人口の拡大と地元雇用を創出
- レストランでは地場産品を提供
- バンケットルームを用い地域交流イベントが可能
- 町と災害時における宿泊施設などの提供に関する協定を締結

名称：『ホテルジャストワン富士小山』
客室：162室　収容人数：290人
事業者：株式会社和栄
事業面積：約12,000㎡　構造：鉄筋コンクリート7階建て

YouTubeで、ホテル建設地の眺望を見ることができます。

南藤曲地区「家・庭一体の住まいづくり」推進区域

フロンティア推進区域
（第２次指定 2014.10.14）

政策課題	●湯船原地区の工業団地整備に伴い、職住が近接した住宅用地の確保が求められている。 ●有事において自助共助の理念が醸成された地域コミュニティの形成が必要である。
解決策	●自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備し、工業団地の職住近接の住宅としての機能を確保する。 ●有事に自立可能なスマートタウンの創出や、区域内に整備する避難地としてのパブリックスペースの確保により、防災対応力の高い住宅団地を形成する。

【事業内容】
・防災対応力の高い住宅団地整備

【想定している事業実施主体】
・小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
―	―	―	―

【区域の範囲】（対象面積：0.55ha）

【スケジュール】

2014年度	実施設計、造成工事着手
2015年度	分譲開始

生活と自然が調和した「富士小山わさび平地区」推進区域（優良田園住宅事業）

フロンティア推進区域
（第２次指定 2014.10.14）

政策課題	●新東名高速道路（仮称）小山ＰＡのｽﾏｰﾄｲﾝﾀｰの設置による利便性の向上や、恵まれた自然環境を活かした、住宅用地の確保が求められている。 ●（仮称）小山ＰＡ等と連携した防災拠点の創出に加え、観光客の一時滞在や災害復旧支援者の受入地の確保が必要である。
解決策	●富士山が望める場所で、自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備し、沿岸部からの移転の受け皿の確保と県内外からの移住・定住の促進を図る。 ●地区内の研修所等施設と協定を締結し、地域住民や観光客の一時避難や災害復旧支援者受入機能を確保し、地域防災力の強化を図る。

【事業内容】
・既存施設との協力協定締結と防災機能を確保した住宅団地整備

【想定している事業実施主体】
・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
―	―	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約25ha）

【スケジュール】

2014年度	地区計画に関する基本方針策定
2015年度	優良田園住宅の基本方針策定 土地利用計画作成
2016年度	造成工事着手、分譲開始準備

南藤曲地区
「家・庭一体の住まいづくり」

子育てにやさしい住宅地「クルドサック16」

⇒団地内道路は曲がった袋小路（ｸﾙﾄﾞｻｯｸ）
- 通行車両が少なく、スピードが出せない
- 用事のない人は入ってこない

静岡県豊かな暮らし空間創生住宅地に認定

富士小山わさび平地区
「優良田園住宅事業」

富士山を望む豊かなゆとりある住宅団地
「わさび平分譲地」

⇒良好な町並み形成のためのガイドライン
- 敷地面積300㎡以上
- 建ぺい率30%以下、容積率50%以下
- 道路境界から5m以上の壁面後退
- 建物の高さを8m以下に制限

駿河小山駅周辺地区：富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業推進区域

フロンティア推進区域
（第４次指定 2015.10.13）

政策課題	●駿河小山駅周辺の未利用地を活用した中心市街地の活性化 ●有事の際の駅利用者の安全・安心の確保
解決策	●駅周辺の未利用地を企業誘致のための工業用地として整備し駅周辺に人の流れを創出するとともに、観光客に対する情報発信機能を強化 ●有事に備え、立地企業と防災協定を締結するとともに、強化した情報発信機能を活用して防災情報を駅利用者等に提供

【事業内容】
・防災機能を備えた工業用地整備及び観光交流施設の機能強化

【想定している事業実施主体】
・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
○	○	―	○	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約30ha）

【スケジュール】

2015年度	企業誘致、情報発信手法検討
2016年度	造成・建築工事完了、防災協定締結 情報発信手法確立
2017年度	情報発信拠点化準備

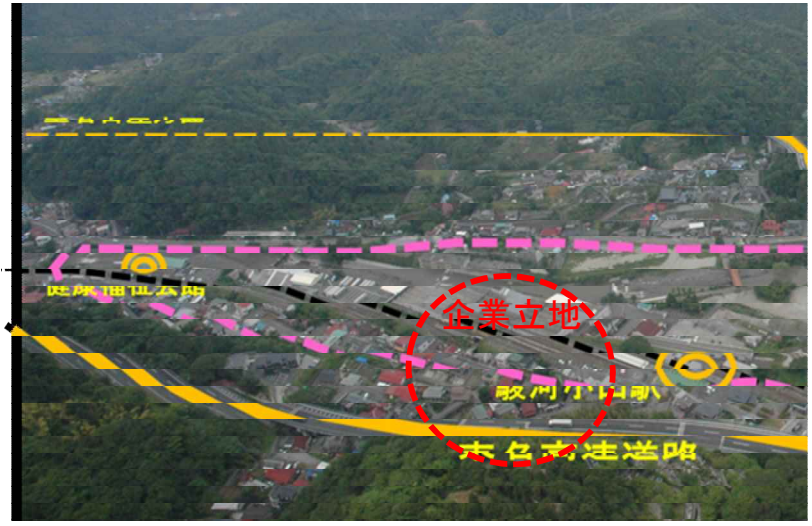
駿河小山駅周辺地区　現況写真

駿河小山駅周辺地区　新規企業立地

新規企業立地：信濃高原食品㈱富士小山工場

JR駿河小山駅近くに完成した
信濃高原食品(株)富士小山工場
◇2016年5月竣工

信濃高原食品(株)は、長野県に本社を置く丸善食品工業のグループ会社であり、生産ラインの拡大を計画する丸善食品工業(株)が用地を取得し建設されました。
生産ライン：1日当たり約4万5千ケースの飲料水
県から指定を受けた「フロンティア推進区域」への立地
2018年3月、第2期工事完了



（駿河小山駅周辺地区航空写真）

須走周辺地区：富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域

フロンティア推進区域
（第５次指定 2016.5.17）

政策課題	●富士山観光の拠点である須走地区において、通過・交流から滞在へ人の流れを創出 ●有事における観光客の安全・安心の確保
解決策	●「道の駅すばしり」周辺及び国道138号沿道に観光宿泊施設を誘致 ●有事に備え、誘致施設と防災協定を締結し、道の駅と連携した観光客の一時避難地として活用

【事業内容】
・観光宿泊施設の整備

【想定している事業実施主体】
・民間事業者

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
―	―	○	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約150ha）

【スケジュール】

2016年度	関係機関協議、実施設計
2017年度	観光宿泊施設工事着手

須走周辺地区　現況写真

富士山須走口登山道の観光客を対象とした観光宿泊施設整備

○都市計画法の運用基準〔※〕を定め、
エリア内に宿泊施設を誘導
・観光資源である富士山を活用し、
交流人口拡大を図る。
・既に2つの民間施設がホテルに
用途を変更し営業開始

推進区域指定面積　A＝150ha

富士山に抱かれた
須走周辺地区観光活性化事業

〔※〕都市計画法第34条第２号に規定する開発行為のうち、観光資源の有効な利用上必要な建築物の建築又は建設の用に供する目的で行う開発行為の運用基準

（12）小山町：リバーガーデンタウンおやま宅地造成事業推進区域

フロンティア推進区域
（第６次指定 2016.11.1）

政策課題	●内陸フロンティア推進区域等をはじめとする工業団地整備や観光関連施設等の整備が進む中、新たな雇用者となる若者世帯の受け皿となる住宅地の確保 ●少子高齢化により弱体化した集落機能の維持と地域防災力の強化
解決策	●水と緑溢れる豊かな自然環境を生かした職住近接のゆとりある住宅団地を整備 ●避難所として利用可能な公園整備とともに、公園を活用した防災イベントや自然環境保全活動等を展開することにより地域住民と新たな居住者との協働活動を活発化し、地域コミュニティを強化

【事業内容】
・住宅団地の整備

【想定している事業実施主体】
・町、民間事業者

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
―	―	―	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約58ha）

①	再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域
②	(仮称)小山ﾊﾟｰｷﾝｸﾞｴﾘｱ・ｽﾏｰﾄｲﾝﾀｰを活用した地域産業集積事業推進区域
③	富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域
④	東名高速道路足柄ｻｰﾋﾞｽｴﾘｱ周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業推進区域

【スケジュール】

2017年度	開発可能性に関する基本調査
2018年度	優良田園住宅の建設の促進に係る基本方針変更
2019年度	測量・調査

小山町のまちづくり推進体制　～ ふじのくにのフロンティアを拓く取組～

1. チームフロンティアおやま(2013.5.7設置)

・副町長をリーダーに関連する課員で構成する庁内プロジェクトチーム
・計画具体化・事業円滑化のため庁内横断的な意見交換
・開催実績　2013年：13回、2014年：8回、2015年：8回、2016年：6回、2017年：5回
2018年：4回、2019年：1回、2020年：1回、2021年：1回

2. 小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会(2013.10. 9設立)

・副町長を会長に、地元自治会・団体、金融機関、進出企業と、行政（国・県・町）で構成する官民連携の協議会
・推進計画の協議、情報共有と情報発信事業を実施
・開催実績　2013年：2回、2014年：3回、2015年：3回、2016年：2回、2017年：2回
2018年：2回、2019年：2回、2020年：書面2回、2021年：書面1回
2022年：書面1回

推進協議会総会

【問い合わせ】
〒410－1395
静岡県駿東郡小山町藤曲57－2
小山町フロンティア推進課
企業誘致・雇用班
Tel　0550－76－6129
Fax　0550－76－4633
mail　miraikyo@fuji-oyama.jp